

だかしや楽校を開催しました！

だかしや楽校って？

だかしや楽校とは、駄菓子屋が地域の「場づくり」に果たしてきた役割が注目されて全国に広がった、山形県発祥の地域のお祭りです。子どもアミーゴでも早くからその活動に注目し、学童、児童センターの子ども達や団体が、地域とつながる場づくりの活動として取り組んできました。

コロナ禍や、天候に左右されることが多かったここ数年のだかしや楽校ですが、今年度は例年通り9月に開催することができました。

当日は夏の暑さが残る一日でしたが、およそ800名近くもの皆さんに会場に集っていただきました。朝早くの準備から夕方片付けまで、多くの子ども達や保護者の方々が、それぞれの地域の学童クラブや児童センターの出店・イベント運営に関わってくれました。

手作り小物や遊びのブース、ステージ発表など、小学生・中学生・高校生を中心に、小さい子から大人まで多くの方が混ざり合って、だかしや楽校の主旨である「自分見せ(得意なもの・好きなもの・好きな遊び)」をしていました。

だかしや楽校といえば…の、メインイベント！ベーゴマ大会準決勝・決勝では、高校1年生男子が優勝！決勝戦で対戦した3年生男子は、敗戦に悔しがり涙を見せる瞬間がありつつも、尊敬のまなざしをむけているようでした。大会の最後には「次は絶対勝つてやる！」と意気込みを伝えた3年生男子に「また来なよ」と余裕の勝利宣言！

来年のベーゴマ大会はさらに熱い戦いとなりそうです。

今年度は地域からの出店も多数ありました。

【メキシコレストランDESPERADO】さんにフライドポテトやからあげの販売をしていただきました。子ども達にはかき氷が大人気◎・【劇団どろんこ座】さんによる紙芝居とワークショップや【Yo~KI】さんによる南京玉すだれの発表で会場はさらに大盛り上がり！例年に増して、地域とのつながりが深まったのではないのでしょうか。

そして、4年ぶりに、一般社団法人キッズスマイルFPいわきさんより、事務局長さんご家族、震災支援活動に携わっていた大学生に会場に集っていただきました。震災直後よりだかしや楽校を通して交流を続けていたのですが、コロナ禍が落ち着いたことで、今年度久しぶりにお会いすることができました。来年度はぜひ子ども達同士の交流も復活できるといいですね！

*本事業は真如苑 2023年度多摩地域市民活動公募助成事業として実施されました。



各学童・児童センター
工夫を凝らした
お店を出しました♪

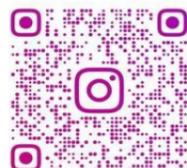
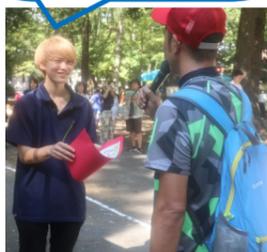


オープニングセレモニー
「ほくたちのお店に
ぜひ来てください！」



「劇団どろんこ座」さん
による紙芝居♪

ベーゴマ大会優勝！
高校生の力を見せて
くれました。



Instagram

アミーゴ通信 2023年10月号

発行日：2023年10月30日

発行者：松本 毅

住所：西東京市西原町1-5-13-101 電話：042-478-0056

e-mail：info@kodomoamigo.org



ホームページ



Children's Amigo
Nishitokyo
子どもアミーゴ西東京



フェイスブック

2023年10月号

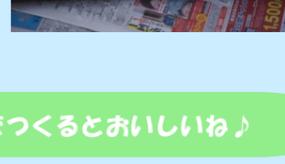
NP0法人子どもアミーゴ西東京

アミーゴ通信

8月11日(金・祝)自然塾を実施しました！



びしょ濡れで楽しめました◎



みんなでつくとおいしいね♪



2023自然塾
たのしかったね
またあそぼう！

8月11日(金・祝)にあしがくぼキャンプ場にて自然塾を開催しました！
台風の影響で、急きょ日帰りでの開催となりましたが、小学校5年生～高校生まで、計14人の卒所生が集まりました。

キャンプ場では、思いっきり川遊び！水を掛け合ったり、岩から飛び込んだり、のんびり浮かんだりと楽しみました。昼食作りでは火おこしや調理を分担して、おいしいカレー&ピザを作りました。学童時代、コロナ禍で4年生合宿にいけなかった中学1年女子は、初めてのドラム缶風呂を満喫したようです。一人ひとりの「やりたい！」を大事にして過ごす中で、マシュマロを焼いてはおしゃべりをし、気が付けば違う学童出身の子どもたちが、ぎゅーっと距離を縮めて、繋がる時間となりました。

豊かな自然の中で、目一杯楽しんだ子ども達。
帰る頃には「もっと遊びたい！」「泊まりたい」と言葉を残して、帰っていったのでした。

来年こそは、晴天の中でみんなの「やりたい！」をもっともっと叶えることのできる二泊三日の自然塾を実施できるといいですね！

ご協力いただいた卒所生保護者の方々本当にありがとうございました。